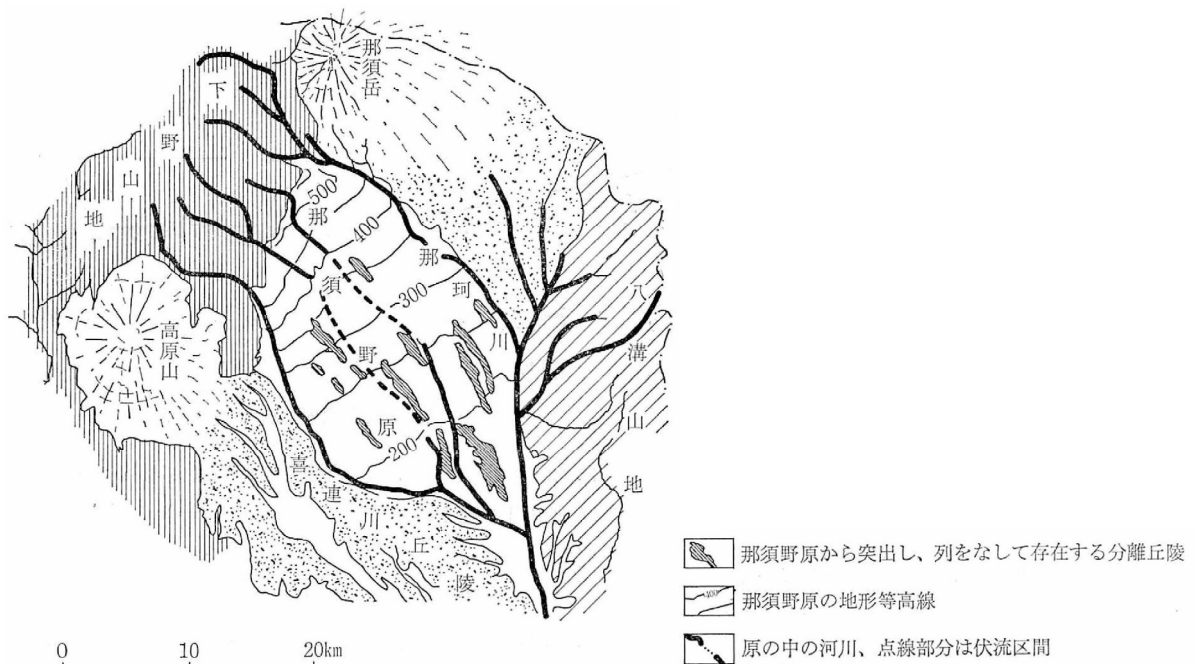


地形・地質

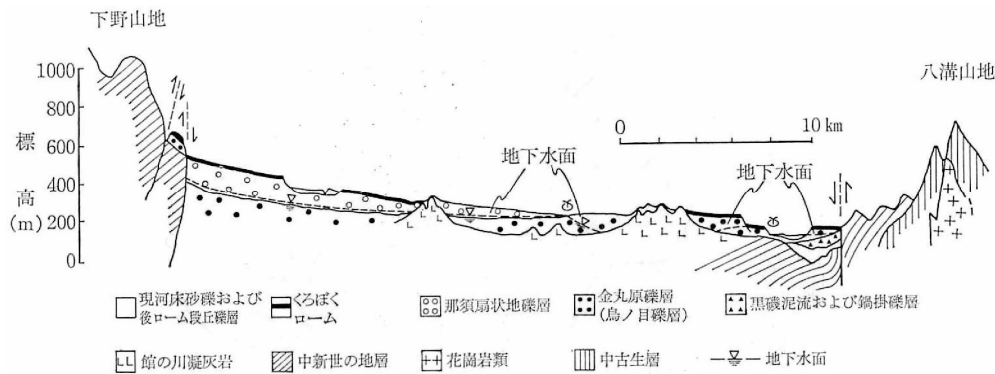
那須野原は栃木県北東部に約 400km² の広がりを持ちます。北西背後地の下野山地と、これを被覆する那須火山群から南東側に流れ出る那珂川等の諸河川によって形成された複合扇状地です。那須野原の構造盆を埋める堆積物は、塩原層群に対比される地層、境林礫層、館ノ川火砕流対比層、新旧各種の扇状地砂礫層です。



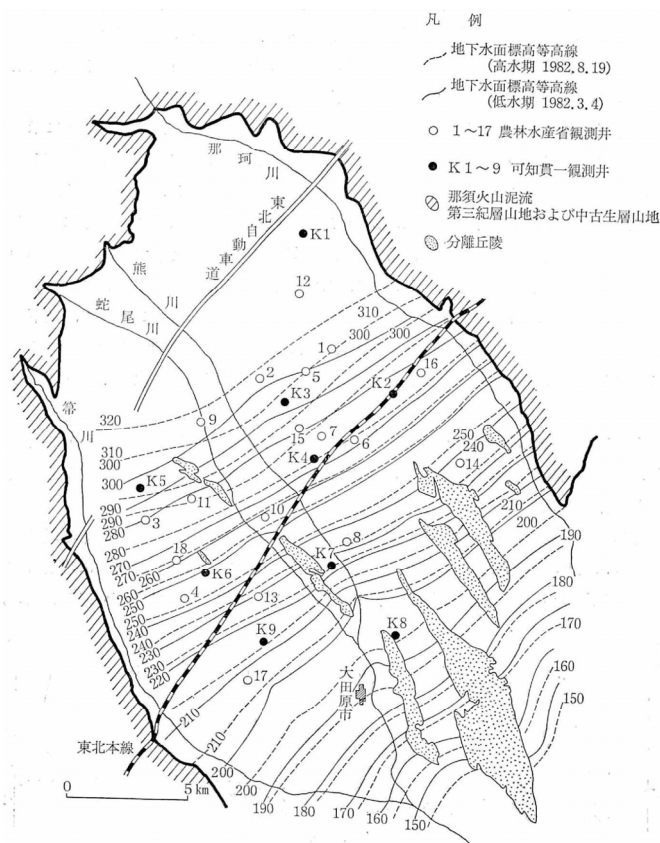
那須野原および周辺の地形区分

地下水

那須野原で最も有能な帯水層は那須扇状地礫層で、大部分の地域では那須扇状地礫層の下部が不圧帯水層となります。排水条件の良いところでは、金丸原砂礫層と鳥の目礫層が帯水層を構成しています。被圧地下水に関する知見は乏しいです。



那須野原模式断面図



那須野原不圧地下水面等高線図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）